



## 牧草新品種の紹介

オーチャードグラスは収量性や再生性に優れた草種であることから、天北地方においても、採草に、放牧にと広く利用されています。ここでは平成17年度に農林登録された「はるねみどり」、平成18年度に北海道優良品種となった「HOG-1」と、オーチャードグラスと相性が良いシロクローバ「リースリング」を紹介します。

### ◎「はるねみどり」

「はるねみどり」は（独）農研機構・北海道農業研究センターが開発した早生品種で、越冬性と収量性に優れるのが特長です。では、試験成績をもとに、解説しましょう。

早晚性は、出穂始が「ワセミドリ」より1日遅い「早生」です。

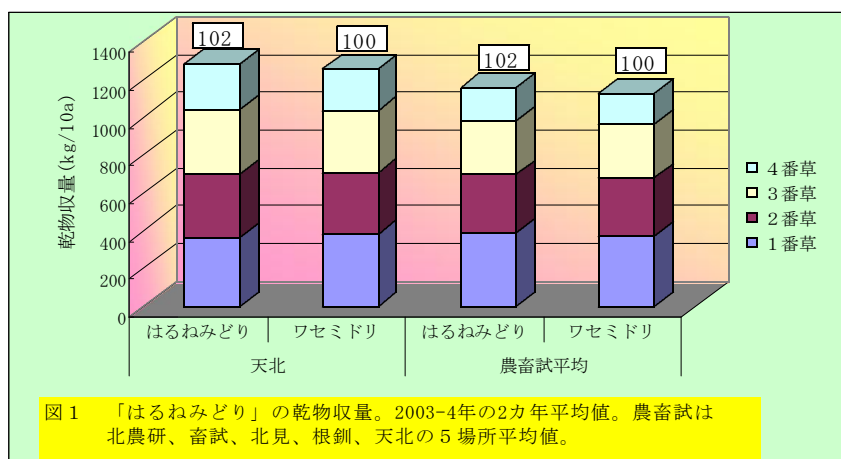
	越冬性		早春の草勢	
	天北	農畜試平均 <sup>2)</sup>	天北	農畜試平均 <sup>2)</sup>
はるねみどり	7.0	6.6	7.2	6.8
ワセミドリ	6.5	5.9	6.2	5.7

<sup>1)</sup> 越冬性、早春の草勢：1（極不良）～9：（極良）、2003-4年平均。  
<sup>2)</sup> 北農研、畜試、北見、根釧、天北の5場平均

表1のように、越冬性や早春の草勢が「ワセミドリ」より優れています。

耐寒性及び耐病性（雪腐大粒菌核病、雪腐黒色小粒菌核病）はそれぞれ「やや強」、「強」と「ワセミドリ」より優れています（根釧農試調べ）。

図1に示したように、天北支場が調査した「はるねみどり」の乾物収量は1,258kg/10aであり、対「ワセミドリ」比は102でした。季節別に見ると、夏、秋で「ワセミドリ」より多収の傾向があります。



栽培適応地域は北海道全域で、既存の品種「ワセミドリ」に置き換えて普及が進められます。採草および放牧に利用できますが、黒さび病の発生がやや多いので、発生した場合には早めに収穫しましょう。

なお、種子の流通は平成20年からの予定となっています。

## ◎オーチャードグラス「HOG-1」

「HOG-1」はホクレンが開発した晩生品種で、収量性と越冬性に優れています。主な品種の特性は次のとおりです。

早晚性は、出穂始が「ヘイキング」と同じで、「ハルジマン」より2日遅い「晩生」です。道北では6月12日頃に出穂始となるでしょう。

	越冬性		早春の草勢	
	天北	農畜試平均 <sup>2)</sup>	天北	農畜試平均 <sup>2)</sup>
HOG-1	5.9	6.0	5.9	6.0
ヘイキング	5.0	5.3	5.0	5.3

<sup>1)</sup> 越冬性、早春の草勢：1（極不良）～9：（極良）、2004-5年平均。  
<sup>2)</sup> 北農研、畜試、北見、根釧、天北、滝川の6場所平均値

越冬性と早春草勢を表2に示しましたが、「HOG-1」は、いずれも「ヘイキング」より優れています。

図2に乾物収量を示しましたが、天北支場の調査では1,588kg/10aで対「ヘイキング」比は98でしたが、6場所平均では2,088kg/10aであり、

対「ヘイキング」比は106と高い収量性が明らかになりました。

天北支場でアカクローバとの混播試験を行ったところ、アカクローバとの競合力は強いと判定しました。

この品種の栽培適地は全道一円で、採草および放牧に利用できますが、黒さび病の発生がやや多いので、発生した場合には早めに収穫しましょう。

なお、種子の流通は平成20年からと予定されています。

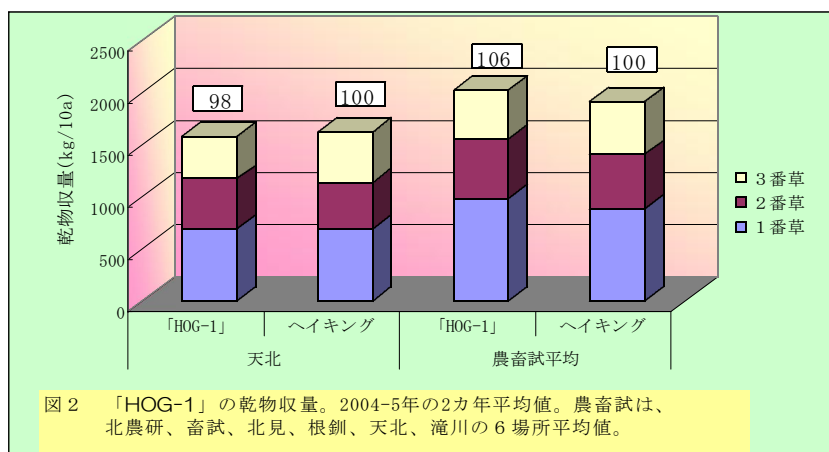


図2 「HOG-1」の乾物収量。2004-5年の2カ年平均値。農畜試は、北農研、畜試、北見、根釧、天北、滝川の6場所平均値。

## ◎シロクローバ「リースリング」

ホクレンが導入した、オランダ原産のシロクローバで、平成17年度に北海道優良品種に認定された「中葉型」品種です。この品種は大敵であるクローバ菌核病の発生が少ないこと(表3)、年次の経過に伴うクローバ率の減衰程度が小さく、永続性が高いことが特長です。オーチャードグラスと混播すると30%前後の適度な割合で推移します(表4)。

種子は既に販売されています。

品種系統名	2年目	3年目
リースリング	2.3	2.3
カリファルニアラジノ	3.0	4.0
調査月日	4.24	4.16
1) 畜試滝川試験地調べ		
2) 観察評点：1;無～9:甚		

品種系統名	1年目	2年目	3年目
リースリング	46	32	23
カリファルニアラジノ	63	35	19